

こども環境学会 2009 年大会（千葉） 概要報告

こどものちから

開催概要

【開催】2009年4月23日（木）～4月26日（日）
 【会場】Qiball（きぼーる）〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央 4-5-1

【共催】

千葉県、千葉市教育委員会、千葉大学（現代 GP 共生環境デザインによる房総半島活性化支援プログラム）、日本ユニセフ協会千葉支部、千葉 YMCA、千葉市民間保育園協議会、JST「計画的な防犯まちづくりの支援システムの構築」PJ、子ども劇場千葉倉センター、まちづくり千葉、市川子ども文化ステーション、NPO 佐倉子どもステーション、こぼていー子ども参加イニシアティブ、いじめ・SOS・千葉、NPO まちアート・夢虫、クルマ社会を問い直す会、学校と地域の融合教育研究会

【後援】

千葉県、千葉県教育委員会、市川市、ちば国際コンベンションビューロー、内閣府、国土交通省、文部科学省、環境省、厚生労働省、日本学術会議、建築研究所、科学技術振興機構、日本ユニセフ協会、日本ユネスコ協会連盟、日本こどもセンター、IPA 日本支部、日本建築学会、日本環境教育学会、日本都市計画学会、日本造園学会、日本発達心理学学会、日本保育学会、日本子ども社会学会、人間・環境学会、国際交通安全学会、日本小児保健協会、聖徳大学、チャイルドライン支援センター、日本公園緑地協会、公園緑地管理財団、都市緑化基金、都市緑化技術開発機構、日本建築家協会、都市計画コンサルタント協会、日本造園建設業協会、日本公園施設業協会、全国建設室内工事業協会、千葉県医師会、千葉県商工会議所連合会、千葉県青少年団体連絡協議会、千葉市中央地区商店街協議会、千葉銀座商店街振興組合、栄通り商店街振興組合、富士見商店街協同組合

※本大会の国際会議の一部は、(財)大林都市研究振興財団「国際会議助成」等の支援を受けました

賛助協賛企業団体数：52 団体

参加者数：約 1,500 人（4 日間の延べ人数、子どもを含む）

プレ大会（4月23～24日）参加者数：290 人

大会（4月25～26日）参加者数：710 名

子どもの参加者数：約 500 名

【プレ大会】

ユニセフ子どもに優しいまち & ユネスコ青少年のための都市環境・アジア・パシフィック国際会議

【4月23日（木）】

C1: 子どもに優しいまちづくり

「ケビン・リンチと青少年のための都市環境」北原理雄（千葉大学）、「GUIC 青少年のための都市環境から CFC 子どもに優しいまちへ」カレン・マロン（豪ウロゴン大学）、コーディネーター：吉永真理（昭和薬科大学）

C2: 分科会2「子どもに優しいまち」の進め方

「子どもに優しいまちは全ての者に優しい、環境にも優しい。これからのまちづくりの最大の方針」木下勇（千葉大学）、「子ども会議その他子ども参画の進め方」レイ・ロレンゾ（伊・都市の未来ラボ）、「遊びの中の危機管理」ロビン・サトクリフ（英ブレイトンフォーラム、ブレインランド）、日本での展開（川崎市）

C3: 分科会1「アジア・パシフィック CFC ネットワーク会議」

子どもの都市環境と参画 Children's Participation (Call for Paper による「理論と実践」、「子どもに優しいまちの施策」) カレン・マロン



【4月24日（金）】

S1: シンポジウム「子どもの参画と自治体の子どもの（権利）条例」

「日本における自治体の子どもの権利条例等の整備と子どもの参画」喜多明人（早稲田大学）、「子どもに優しい都市と子どもの参画」レイ・ロレンゾ
 パネリスト：レイ・ロレンゾ、喜多明人、カレン・マロン、渡慶次康子

S2: シンポジウム「安全性と子どもの遊びが保障される環境とは？」

「子どもが犯罪から守られる環境づくり」リチャード・シュナイダー（米ミシガン大学）
 【防犯】「計画的な防犯まちづくりシステムの構築」山本俊哉（明治大学）、小栗幸夫（千葉商科大学）
 【交通安全】今井博之（クルマ社会を問い直す会）、佐藤清志（全国交通事故遺族の会）、
 パネリスト：リチャード・シュナイダー、カレン・マロン、仙田満（放送大学）、今井博之、コーディネーター：樋野公宏（建築研究所）

SM1: 学生討論会「コナ世代にできること」

渡辺龍彦（慶応義塾大学）ほか



エキスカージョン A 「あたらしい学校・幼稚園の取り組み」

仙田考（環境デザイン研究所）、岸裕司（秋津コミュニティ）
 四街道さつき幼稚園、習志野市立秋津小学校&秋津コミュニティ、千葉市立美浜打瀬小学校、千葉県立船橋柴山高校芝生湿地

エキスカージョン B 「こども、地域、環境の取り組み」

高山友一（千葉市役所）、菅博嗣（あいランドグループ）
 千葉市立少年自然の家、大草谷津田いきもの里、千葉市子どもたちの森公園

エキスカージョン C 「きぼーる施設見学」

仙田考ほか
 千葉市子ども交流館、千葉市科学館（プラネタリウム含む）



【4月25日(土)】

開会式：挨拶と主旨説明

千葉市、仙田満(本学会会長)、木下勇(大会実行委員長)

子ども和太鼓

テーマソング「power To The Children」子ども交流館パシパノド

S3: 国際シンポジウム「こどもの力の回復」

「より生きいきとした都市に向けてのこども参画」レイ・ロレンゾ、「こどもの健康な成長を支援する家庭政策」崔在順(仁川大学)、「子どもの遊ぶ力を守る」仙田満、「子どもの学ぶ力」小澤紀美子(東海大学)、コーディネイト: 織田正昭(東京大学)

S4: 記念講演「こどもの力を伸ばす」

ジョン・ギヤスライト(ツリクラミングジャパン, 中部大学)

S5: 青少年シンポジウム 大人に聞きたい!

中高生フォーラムからの提言 vs 大人の怪答

パフォーマンス: 現代版組踊「肝高の阿麻和利(きむたかのあまわり)」



SM2: 分科会「こどもの力を育む施設的环境」

柳澤要(千葉大学)、デニス・ハシルシ(イズミール経済大学)、仙田考、榎重善(横浜市)

SM3: 分科会「学校と地域の協働で育むこどもの力」

岸裕司(秋津コミュニティ)、藤原和博(よのなか NET)、萩原和夫(ぎょうせい)

SM4: 分科会「こどもの力を支えるプレーワーカーのあり方」

黒岩佐和子(児童館職員)、嶋村仁志(日本冒険遊び場づくり協会)、伊藤雅子(自然遊びわかばの会)、下浦忠治(元品川区学童保育・放課後事業職)、荒巻光子(遊び塾はらっぱ)、天野秀昭(大正大学)、菅博嗣、高山友一



2009 年度 総会 25日(土) 午後 18:30 ~ 19:10 京葉銀行文化プラザ
学会賞発表、2008 年度事業報告、2008 年度決算報告、2009 年度役員就任、2009 年度事業計画、2009 年度予算計画が報告・提案され、承認された。総会後に交流会が開催された。



S7: 「こども環境学会賞・受賞式および講演会」

【論文・著作奨励賞】

大澤力(東京家政大学)ほか「心を育てる環境教育」

【デザイン賞】

牛山俊朗(ユープランニングアソシエイツ)ほか「手話による聾学校へのリノベーション『明晴学園』」、竹原義二(無有建築工房)ほか「あけぼの学園『南楓亭』」、萩野雅之(木楽舎)「楽つみ木広場ワークショップ〜子どもたちの生きる力が発芽する『遊びと学びの環境作り』」

【活動賞】

佐々木香(ZERO キッズ)「こどものパワーで地域をつなぎ文化を創る! ~ZEROキッズの15年」、玉田雅己(パイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター)ほか「特区 NPO ろう学校『学校法人明晴学園』の設立に関わる活動~約75年間のろう者の夢!手話で教えるろう学校の実現に至る活動~」

【活動奨励賞】

山田晴子(ちば MD エコネット)「障害のある子とない子が共に学ぶ環境づくり活動—ドキュメンタリー映画『ひなたぼっこ』製作と『ノーマライゼーション学校支援事業』の取り組み」



【4月26日（日）】

S6: 「基礎こども力を育てる」

大谷みどり (TOKYO 区立健康学園連絡会)、宮崎栄樹 (木更津社会館保育園)、岡田信之 (目黒区興津健康学園)、橋本好造 (千葉市教育委員会)、神谷明宏 (聖徳大学)、伊藤益子 (TOKYO 区立健康学園連絡会)

SM5: 分科会「乳幼児期の遊びとこどもの力」

木村歩美 (保育園職員)、汐見稔幸 (白梅学園大学)、鈴木真由美 (光の子どもの会の会)、小瀧綾 (夏目台幼稚園保育園)

SM6: 分科会「こどもたちの共生と支える大人たち」

三橋和弘、宮本照嗣 (学会誌編集委員)、花崎みさを (野の花の家)、國井光男 (千葉大学教育学部附属特別支援学校)、山田晴子 (NPO ちば MD ネット)、池口紀夫 (NPO 千葉こどもネット)

SM7: 分科会「こどものまちとこどもの力」

中村桃子 (こどもがつくるまち研究会)、勝部久美子 (市川市子ども文化ステーション)、あおきん (市川市子ども文化ステーション)、湯山博子 (千葉大学大学院)、ミニいちかわ、ミニさくら、ミニニコハマの子どもたち



【子ども参加のワークショップ】 23～25日

「泳げ! でかか鯉」、「未来のまちをデザインしよう」、「移动式子ども基地」、「ふれあい囲碁を体験しよう」、「みちばたで遊びながら考えるドラマティックファシリテーション」、「和太鼓をたたこう!」、「角材とジャンボ輪ゴムでまちなみをつくろう」、「こどものまち」、「探査機を宇宙に送ろう!」、「画鋏と糸で「ナスカの地上絵」を体育館につくろう」、「親子でワクワクつって遊ぼう!」、「みんなでガヤガヤつって遊ぼう!」、「料理ふしぎ発見!」、「やってみよう! 大道芸」、「親子の絆を育む子どもイタズラ村づくり」

【子ども参加のパフォーマンス】 23～25日

「ソフトカー」、「手づくりトピアリー」、「キッズダンス」、「子どもメディアクリエイター」、「オリジナルソング Power to the children 初公開」、「大道芸」、「ドキュメンタリー映画『ハクナマタタ!〜チャレンジド・ミュージカルへの熱い5か月〜』上映会」、「現代版組踊『肝高の阿麻和利 (きむたかのあまわり)』上映会」



【ポスターセッション】

ポスターセッション出展数:62点 [ポスターセッションA (学術研究 39点)、ポスターセッションB (非営利団体の活動紹介 17点)、ポスターセッションC (企業等の活動紹介 5点)]。

優秀ポスター発表賞 (審査員: 本会役員 22名、委員長: 織田正昭)

「小学生児童 (3年生時から6年生時) による生活環境に関する地図描写の変化」千代章一郎 (広島大学) ほか、「仮説としての次世代型学社融合のカタチ〜寄り道の次のミチ」児玉達朗 (日本女子大学学術研究員) ほか、「遊び教育を支援する Tentmushi の提案と試み」桑原淳司 (日本大学) 「日本一汚い近木川で、子どもが復活させた川文化 (遊び)」橋本夏次、「千葉市の中高生の生活の実態と児童センターに対する期待〜2004年度アンケート調査結果」定行まり子 (日本女子大学) ほか、「保育所・幼稚園における遊び行為の展開に関わる空間的特性」岩田秀斗 (岐阜工業高等専門学校) ほか



S8: 総括セッション

各セッションからキーワードによる報告があった。行動アクション (有言実行)、家族のきずな、大人の意識、コラボレーション、ドリームメーカー/ドリームプレイヤー、命・共生・自然、こどもを信じる、仲間、信頼できる大人、実感できる体験、体験プロセス、生活時間、内なる自然と外の自然の呼応、プレ親としてのコトナ世代、わが子がいらない強み、デジタル世代の強み、成果や効果を「つなぐ」、ビジュアライズ→判りやすく知らせる、こどもの居場所とおとなの居場所、プレーカーは子どもの立場にたつ、子どもが自己決定し、チャレンジしていくことのできる人間関係を紡ぐ、子どもの遊びを見守る大人と子どもの新たな関係の構築、子どもの遊びの価値の認知がプレーカーの社会的認知につながる、遊び、こどものちから、おとなのかかわり、ひとりひとり、共生・地域・ネットワーク、楽しい! おもしろい!、変わる・変える、Power to the children!

子ども記者によって作成された新聞紙面を提示しながら、振り返り発表があった。

木下委員長による総括があり、大会宣言案が提案され、採択された。



こども環境学会 2009 年大会（千葉） こどものちから Power to the Children 提言（案）

全てのセッションと総括セッションでの議論を通じて、2009年大会において、以下の12項目の提言を採択した。

1. こどもの力を信じること。～ 一般向け、文部科学省、厚生労働省
2. 大人はこどものドリームメーカー（自分を受け止めてくれて、発展させてくれる人）でなければならない。～ 一般向け、文部科学省、厚生労働省
3. こどもは未来社会を確実にするためのパートナーとしての意識啓発に努めること。～ 一般向け、内閣府、総務省
4. こどもとの対話(dialogue 会話のキャッチボール)の機会を家庭、学校、地域、行政などあらゆる場面に増やしていくこと。～ 総務省、文部科学省、厚生労働省、内閣府
5. 「子どもの権利条約を批准している」我が国において、こどもの権利は当然の人権として、義務教育課程や社会教育で子ども、親、地域に認識を広めていくこと。～ 文部科学省、地方公共団体
6. こどもに関わるあらゆる情報にこども自身がアクセスしやすいように情報公開につとめること。そしてこどもに関わる事項の計画に参画し、意思決定に関わる機会を設けること。～ 地方自治体、総務省
7. こどもの力の回復や発揮の支援のための専門的職能（ファシリテーション）の向上、専門家（プレーヤー）の雇用の拡大～ 文部科学省、国土交通省、環境省、経済産業省
8. こどもの力を摘み取る物理的および社会的環境を点検し、改善し、こどもの力を育む環境づくりの推進（ゼロトレランスではなく、リスクにチャレンジしこども自身が全身でいろいろな力を磨いて行くことができる環境）～ 国土交通省、文部科学省、環境省、内閣府、厚生労働省
9. こどもの遊びの意義を社会的に認知するようつとめること。遊びを否定に見るのではなく、心身の全面的発達に必要なものとして、子どもたちの遊びの機会を増やすようつとめること。～ 一般向け、メディア、国土交通省、文部科学省、環境省、内閣府、厚生労働省
10. こどもが全身で自ら学ぶ力を育むことができるような自然体験の機会をできるだけ長くゆったりとした時間の中で持てるようにすること（こどもには田舎が必要）～ 農水省、文部科学省、総務省、環境省、内閣府
11. 子どもやその家族との連携、コミュニティと行政の連携を構築すること～ 総務省、厚生労働省
12. 先進国の中でこどもにかかる予算が少ない実態のみならず、将来世代に借金を負わせている現在の財政事情を改め、次世代育成のためにもっと予算をふりわけ、適切な基金を確保すること～ 総理大臣、参議院、衆議院、財務省



【会場サイングラフィック】原寛道（千葉大学）と千葉大学工学部デザイン学科の学生

【2010 年度大会（広島）予定】

4月23日（金）～25日（日）開催予定。ご期待ください。
実行委員長：千代章一郎・広島大学准教授

こども環境学会 事務局（事務局長 中山豊）
〒261-8586 千葉市美浜区若葉 2-11 放送大学仙田満研究室
TEL & FAX. 043-298-4118
URL : <http://www.children-environment.org>
E-mail : info@children-environment.org

こども環境学会 2009 年大会（千葉）実行委員

実行委員長：木下勇（千葉大学）
副実行委員長：岸裕司（秋津コミュニティ）、渡慶次康子（NPO 法人市川子ども文化ステーション）、宮本照嗣（市民参加まちづくりパートナー）
事務局長：堀達哉（千葉大学、こどもがつくるまち研究会）
会計：原寛道（千葉大学）

《総務・運営》

安藤弘（東葛民主主義教育研究会）、伊藤雅子（親そだちネットワーク・ビジービー/一時保育）、井上寿（環境デザイン研究所/受付・出納）、大森智恵子（NPO 法人子ども劇場千葉県センター）、大森康雄（今井保育園/機材）、大谷みどり（TOKYO 区立健康学園連絡会/会場サイン・学生ケア）、櫻浦敏彰（まちづくり千葉/交流会）、神谷明宏（聖徳大学/学生ケア・開会式・進行）、岸裕司（併任/開会式・交流会）、木下勇（併任/進行）、黒岩佐和子（児童福祉施設/こども会員）、児玉達朗（日本女子大/統括・大会記録）、教合君宏（こども環境学会員/HP）、田代久美（宮城大学/通訳、滞在ケア）、田中博（NPO 法人まちづくり千葉/協賛金関係・渉外）、谷本都栄（日本スポーツ文化研究所/こども記録隊）、田村光子（植草学園短期大学/機材）、富本ふさ子（こども環境学会事務局/受付・出納・入会事務）、渡慶次康子（併任/広報）、中山豊（こども環境学会事務局/当日進行）、野口弘明（千葉市民間保育園協議会事務局/当日進行）、原寛道（併任/記録・会場サイン）、半田晶子（NPO 法人 NPO まちアート・夢虫/協賛金関係・渉外）、三角真一（愛媛大学/HP 担当）、宮本照嗣（併任/機材）、森田舞（千葉大学大学院/会場レイアウト）、柳澤要（千葉大学/会場レイアウト）、山本俊子（まちづくり千葉/交流会）、湯山博子（千葉大学大学院/こども記録隊）、吉永真理（昭和薬科大学/通訳、滞在ケア）

《各プログラム》

青木美里（NPO 法人市川子ども文化ステーション/こども会議）、井上寿（併任/ポスターセッション）、加藤社一郎（埼玉大学大学院/分科会）、木下勇（併任/国際シンポジウム統括）、田村光子（併任/分科会統括・シンポジウム）、角田季美枝（千葉大学大学院/ワークショップ）、中村桃子（こどもがつくるまち研究会/こども会議）、三橋和弘（シンポジウム統括）、宮本照嗣（併任/ワークショップ統括）、森田舞（併任/ポスターセッション）

《イベント》

朝倉幹晴（クルマ社会を問い直す会/JST 共催シンポジウム）、神谷明宏（併任/こども和太鼓、バンド等）、菅博嗣（あいランドスケープ研究所/エクスカーション）、岸裕司（併任/エクスカーション、こども和太鼓、バンド等）、仙田考（環境デザイン研究所/エクスカーション）、田代久美（併任/プレ大会 CFC 担当）、角田季美枝（併任/プレ大会 CFC）、横重善（横浜市環境創造局/エクスカーション）、吉永真理（併任/プレ大会 CFC）

《学会誌・大会プログラム号編集》

木村歩美（おおぎ第二保育園/統括）、岸裕司（併任）、北方美穂（ライター/フリーランス編集）、小杉皓男（ライター/フリーランス編集）、永島憲一郎（萌文社）

《全体スタッフ》

池田邦子（いじめ・SOS・ちば）、伊藤益子（TOKYO 区立健康学園連絡会）、大場博子（佐倉こどもステーション）、小熊浩典（こばていー子ども参画インシアティブ）、小瀧綾（夏見台幼稚園保育士）、嵯峨創平（NPO 法人環境文化のための対話研究所）、佐藤清志（クルマ社会を問い直す会）、新谷義男（NPO 子どものまち）、杉田久美子（クルマ社会を問い直す会）、田口初江（こども環境アドバイザー）、橋本正法（地域交流センター）、福本朋子（財団法人日本ユニセフ協会千葉県支部）、横英子（淑徳大学）、渡辺周一（こばていー子ども参画インシアティブ）

こども環境学会 2009 年度・役員（2009年4月25日 総会決定）

会長：仙田 満	（放送大学 教授）
副会長：織田 正昭	（東京大学大学院 教官）
副会長：小澤 紀美子	（東海大学 名誉教授）
副会長：汐見 稔幸	（白梅学園大学 学長・教授）
副会長：福岡 孝純	（帝京大学 教授）
専務理事：中山 豊	（こども環境学会 事務局長）
理事：井上 美智子	（大阪大谷大学 教授）
理事：神谷 明宏	（聖徳大学 准教授）
理事：岸 裕司	（学校と地域の融合教育研究会 副会長）
理事：木下 勇	（千葉大学 教授）
理事：木村 歩美	（おおぎ第二保育園 職員）
理事：黒岩 佐和子	（児童福祉施設 職員）
理事：定行 まり子	（日本女子大学 教授）
理事：千代 章一郎	（広島大学 准教授）
理事：高橋 勝	（横浜国立大学 教授）
理事：谷本 都栄	（日本スポーツ文化研究所 主任研究員）
理事：玉田 雅己	（会社員 NPO 代表）
理事：中津 秀之	（関東学院大学 准教授）
理事：松本 直司	（名古屋工業大学大学院 教授）
理事：矢田 努	（愛知産業大学大学院 教授）
監事：桑原 淳司	（日本大学 教授）
監事：住田 正樹	（放送大学 教授）

